

名 称 所 在	用 途 (令別表)	発 生 日 時 等	構 造・階 層 面 積	焼 損 程 度 (焼損面積 延面積)	死 傷 者
<b>蒲田文化会館 (イトヨーカ堂)</b>		昭和44年5月1日	耐火 5/1	全・ <sup>半</sup> ・部・小	死者 0名
東京都大田区 西蒲田7-61 -1	複合用途 (16)イ	出火17時06分ころ 覚知17時11分 覚知別 報知電話 鎮火20時58分	建 1,063m <sup>2</sup> 延 6,313.7m <sup>2</sup>	1,782m <sup>2</sup> (28%)	傷者 13名 (2)

## I 火災概要

<b>① 概 要</b>	隣接地に野積してある廃品のダンボールから出火した火炎は、耐火造5/1階建の複合ビル(スーパー・マーケット・映画館)の外壁開口部(窓)から延焼し、2・3階 1700 m <sup>2</sup> 余り焼損した延焼経路の特異なケースである。最も混雑している時間帯で、建物内にはかなりの客がいたが、類焼のため時間的・精神的に余裕があり、従業員の適切な避難誘導により、犠牲者を出さずに済んだ事例である。						
<b>② 階 別 状 況</b>	階	床 面 積	焼損床面積	用途(売場)	在館者	死 者	避難設備等
		m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>				消防用設備等
	PH 1.2.3	178.4		塔屋			屋内避難階段 1箇所 (B1～5F) 1箇所 (B1～3F)
	5	651.8		映画館・事務所	1		屋外避難階段 1箇所 (1～5F)
	4	1,049.8		映画館(2件)	156		
	3	1,064.5	1,782	売場・倉庫	80		
	2	1,064.5		売場・事務所・倉庫	110		
	1	1,063.0		売場	115		
	B1	1,241.7		機械室・売場 電気室・倉庫	87		
	合計	6,313.7	1,782		549	0	
<b>③ 出 火 場 所</b>	(階、室、部位、可燃物状況、居室・非居室、在・不在) 当館建物に近接して野積みされていた紙・ダンボール等				<b>④ 出 火 原 因</b>	当館4階映画館の観客のだれかが、4階便所で用便中喫煙し、その吸いがらを便所の窓から投げ捨てたため、野積みされていた紙・ダンボール箱に着火し、燃えあがり当館に延焼したものである。	
	○当館敷地南側中央部に木造の倉庫(5m <sup>2</sup> )を建て、その周囲に約500kg程度の紙・ダンボール箱等が集積されていた。(主としてスーパー・マーケットから出る廃品)						
	○出火当時、ダンボール箱等の集積場所付近では、作業もしておらず、誰もいなかった。						

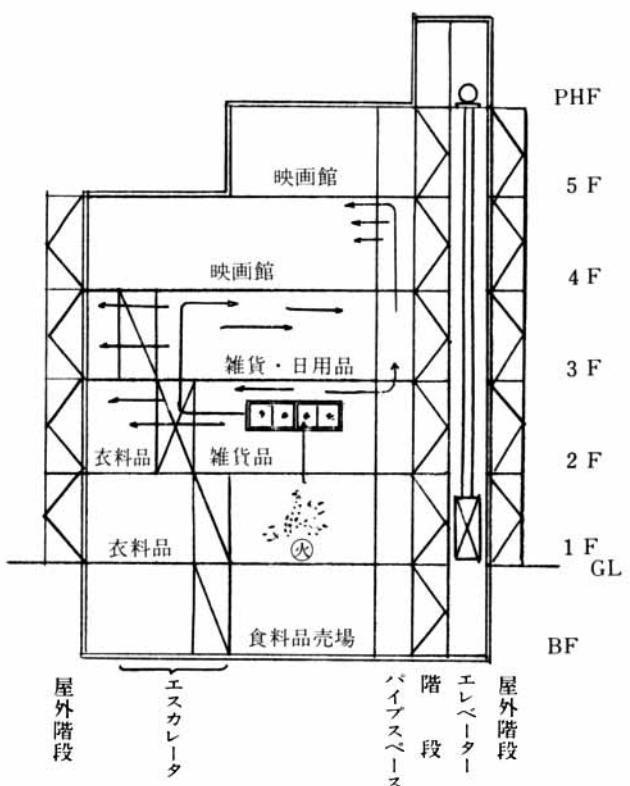
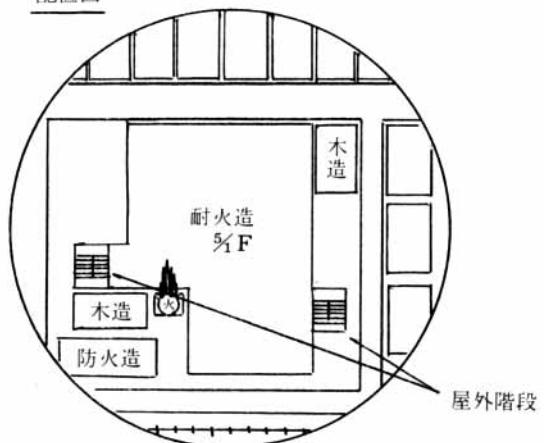
⑤ 火 災 の 延 焼 経 路 等	(出火部位)	(耐火建物への延焼)	(出火室の拡大)	(上階への延焼)												
	野積みされていた紙袋、ダンボール等	2階外壁開口部(閉鎖されていた) 網入ガラス戸 ・アルミサッシわん曲 ・輻射熱	合板内装 テックス天井 陳列棚 商 品	2階水平シャッター開口部分 ・エスカレーター ・屋内階段 ・ダクトスペース												
野積みされた紙類・ダンボール等が燃え上がり、その火炎が開口部を強く熱し、アルミサッシをわん曲にさせ、その隙間から内部へ更に網入ガラスの輻射熱によって内装合板に着火した。火はテックス天井へと延焼するとともに、陳列棚及び商品を延焼して2階全域に燃え拡がった。更に3階への延焼は、水平シャッタが開放されていたエスカレータ及び屋内階段並びに2階北西すみのダクトスペースが延焼経路となつた。																
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 延焼拡大した主な理由           <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 外壁開口部(網入ガラス戸)に近接し、易燃性の合板による内装を施し、さらに易燃性合板により装飾され、これに接して可燃性の商品が多量に陳列してあった。</li> <li>○ 防火シャッターを閉鎖しなかったり、自動閉鎖式シャッターが作動しなかった。</li> </ul> </li> <li>○ 煙の伝播経路           <ul style="list-style-type: none"> <li>エスカレータ・屋内階段のシャッター開放部分、及びダクトスペース等の区画不備箇所から上階へ伝播。</li> </ul> </li> </ul>																
<h2>II 火災建物概要</h2>																
① 建 築	着工・竣工又は主たる改築等 使用検査 昭和39年4月13日 開館 昭和39年4月24日 (確認)昭和38年8月6日 (同意)昭和38年7月28日															
管 理 状 況	<p>② 穴 の 状 況</p> <table border="0"> <tr> <td>階 段</td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>ダクトスペース</td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>エレベーター</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>パイプシャフト</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>エスカレータ</td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>その他( )</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>ダクトスペースの区画がなされておらず、合板で内装されていた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 水平シャッター開放中のエスカレータ</li> <li>○ 階段室区画が開放の屋内階段</li> </ul>		階 段	<input checked="" type="checkbox"/>	ダクトスペース	<input checked="" type="checkbox"/>	エレベーター	<input type="checkbox"/>	パイプシャフト	<input type="checkbox"/>	エスカレータ	<input checked="" type="checkbox"/>	その他( )	<input type="checkbox"/>	<p>③ 防 火 管 理 状 況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 防火管理者は選任されていた。</li> <li>○ 防火管理者の下に、それぞれ防火担当責任者を指定し、防火管理体制をとっていた。</li> <li>○ 店舗・映画館それぞれ消防計画を作成し、防火管理者がこれを総括的消防計画として署に提出していた。</li> <li>○ 訓練は2ヶ月に1回、部分訓練を自主的に実施し、他に署との総合訓練も行っている。</li> </ul>	
階 段	<input checked="" type="checkbox"/>	ダクトスペース	<input checked="" type="checkbox"/>													
エレベーター	<input type="checkbox"/>	パイプシャフト	<input type="checkbox"/>													
エスカレータ	<input checked="" type="checkbox"/>	その他( )	<input type="checkbox"/>													
<p>④ 防 火 区 画 等</p> <p>各階の階段、エスカレータ部分に防火シャッター及び鉄製フラッシュ扉(甲種防火戸)が設けてあった。</p>		<p>⑤ 消 防 用 設 備 等</p> <p>査察で商品集積による屋内消火栓の使用障害を指摘されている。</p>														

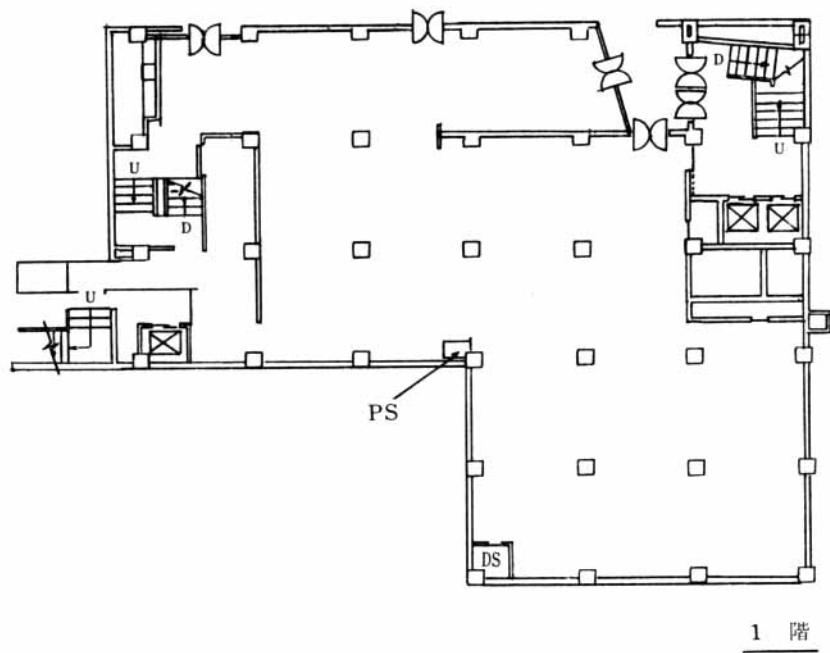
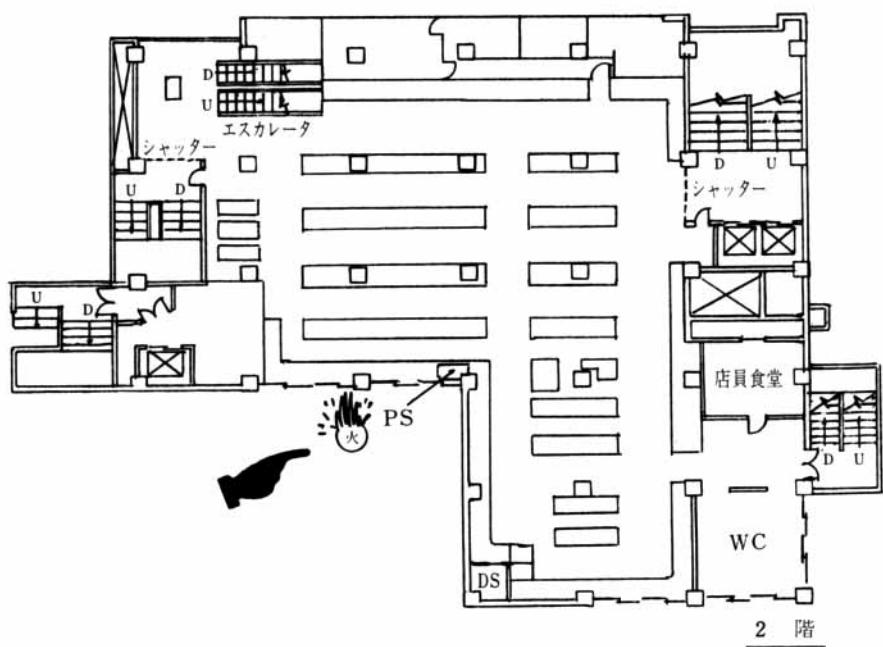
### III 火災後の行動

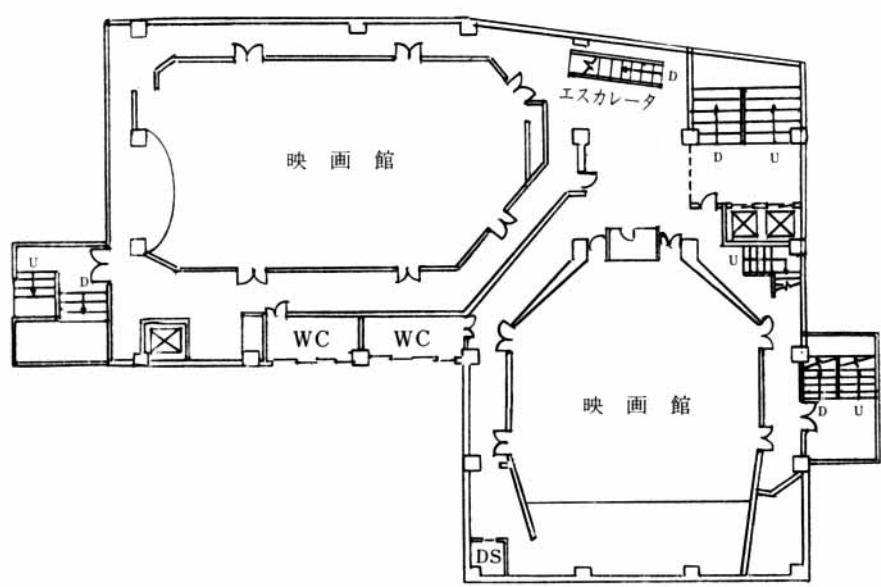
① 発見状況	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="radio"/> 発見者 (近くに配達に来ていた店員)</li> <li><input type="radio"/> 発見の動機 (灰のようなものが降ってきた)</li> <li><input type="radio"/> 発見後の行動 (通報を依頼する)</li> </ul>	
	<p>出火場所西側のZ飲食店にピール配達に来たY店員(33才)は、帰ろうとして店先に出た所、灰のようなものが降ってくるので、横の廃品置き場に駆け付けてみると、当会館の南側壁体に接するようにして、3メートル位の高さに野積してある紙袋の上面が燃えているのを見た後、すぐZ飲食店に引き返して、A店主(32才)に通報を依頼した。</p>	
② 通報状況	<p>通報した <input type="checkbox"/>    出火後約( 5 )分  <input checked="" type="checkbox"/> しない (近くの飲食店主)</p>	
	<p>火災を見た店員が、Z飲食店にもどって来て、通報をA店主(32才)に依頼し、A店主から通報された。</p>	
③ 初期消火状況	<p></p>	<p>成功 <input type="checkbox"/> 失敗 <input checked="" type="checkbox"/>  <input type="radio"/> 消火時期 <input type="checkbox"/>  <input type="radio"/> 消火困難性 <input checked="" type="checkbox"/>  <input type="radio"/> 消火方法 <input checked="" type="checkbox"/></p>
		<p>(理由又は状況)          発見者の店員が通報を依頼した後、水道の水で消火作業している。          その後、5~6名の者が消火作業を行っているがほとんど効果がなかった。</p>
④ 消火活動概要	<p></p>	<p><input type="radio"/> 消火時期 <input type="checkbox"/>  <input type="radio"/> 消火困難性 <input type="checkbox"/>  <input type="radio"/> 消火方法 <input type="checkbox"/>  <input type="radio"/> その他 <input type="checkbox"/></p>
	<p>(消防上の支障・困難性等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="radio"/> 耐火建物は延焼しないという観念をなくし、耐火建築物の隣接火災においては、積極的に耐火建物に対し、予備注水が必要であり、迅速に内部の延焼の有無を確認する必要があり、特に開口部の大きい耐火建物については、注意が必要である。</li> <li><input type="radio"/> 複合ビル等においては、内部状況の変動が激しいので、保安関係者と連絡を密にし、状況をは握しておくのはもちろん、警防計画等も常に更新しておくこと。</li> <li><input type="radio"/> 耐火建物の火災は、注水効果が各階層ごとに完全に分断される等の困難性を考慮して、応援隊の要請時期を誤らないようにすること。</li> <li><input type="radio"/> 特殊車の応援要請をする場合、これらの隊が行動できる空地や道路を確保しておくこと。</li> </ul>	

	避 難 方 法	避 難 上 支 障 事 項																								
⑤ 避 難 状 況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○階段を利用 <input checked="" type="checkbox"/> ( 341 人)</li> <li>○エレベーター、エスカレータ利用 <input checked="" type="checkbox"/> ( 6 人)</li> <li>○避難器具を利用 <input type="checkbox"/> ( 人)</li> <li>○窓、開口部から直接地上へ <input type="checkbox"/> ( 人)</li> <li>○救 助 <input type="checkbox"/> ( 人)</li> <li>○その他( ) <input type="checkbox"/> ( 人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○無 窓 <input type="checkbox"/></li> <li>○開口部の格子等 <input type="checkbox"/></li> <li>○非常口(出入口)等の施錠 <input type="checkbox"/></li> <li>○警報設備 <input type="checkbox"/> (管理不良、機能不良、未設置)</li> <li>○停 電 <input type="checkbox"/></li> <li>○その他 <input type="checkbox"/></li> </ul>																								
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 4階の観客 150 名は、従業員の誘導により屋外階段から避難、従業員は観客の誘導確認後、全員エレベーターで避難している。</li> <li>○ 3階の買物客 60 名は、従業員の避難誘導で屋内階段から避難している。</li> <li>○ 2階の買物客 100 名は、従業員の誘導で屋内階段から避難している。</li> <li>○ 2階の買物客 100 名は、従業員の誘導で屋内階段から避難、従業員は同様経路により避難。</li> <li>○ 地階・1階の買物客 180 名は、従業員の指示により東側出入口より避難。</li> </ul>																									
⑥ 死 者 の 状 況	<table border="1" style="width: 100px; margin-bottom: 10px;"> <tr> <td>健 康 人</td> <td>名</td> <td>避 難 上 支 障 と な っ た 事 項</td> </tr> <tr> <td>(泥酔者</td> <td>名)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>○無 窓 <input type="checkbox"/></li> <li>○開口部の格子等 <input type="checkbox"/></li> <li>○非常口(出入口)等の施錠 <input type="checkbox"/></li> <li>○警報設備 <input type="checkbox"/> (管理不良、機能不良、未設置)</li> <li>○停 電 <input type="checkbox"/></li> <li>○その他 <input type="checkbox"/></li> </ul> </td> </tr> <tr> <td>要保護者</td> <td>名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>[乳幼児</td> <td>名]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高齢者</td> <td>名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>身 体 不</td> <td>名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>自 由 者</td> <td>名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>病 人</td> <td>名</td> <td></td> </tr> </table> <p>なし</p>	健 康 人	名	避 難 上 支 障 と な っ た 事 項	(泥酔者	名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○無 窓 <input type="checkbox"/></li> <li>○開口部の格子等 <input type="checkbox"/></li> <li>○非常口(出入口)等の施錠 <input type="checkbox"/></li> <li>○警報設備 <input type="checkbox"/> (管理不良、機能不良、未設置)</li> <li>○停 電 <input type="checkbox"/></li> <li>○その他 <input type="checkbox"/></li> </ul>	要保護者	名		[乳幼児	名]		高齢者	名		身 体 不	名		自 由 者	名		病 人	名		
健 康 人	名	避 難 上 支 障 と な っ た 事 項																								
(泥酔者	名)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○無 窓 <input type="checkbox"/></li> <li>○開口部の格子等 <input type="checkbox"/></li> <li>○非常口(出入口)等の施錠 <input type="checkbox"/></li> <li>○警報設備 <input type="checkbox"/> (管理不良、機能不良、未設置)</li> <li>○停 電 <input type="checkbox"/></li> <li>○その他 <input type="checkbox"/></li> </ul>																								
要保護者	名																									
[乳幼児	名]																									
高齢者	名																									
身 体 不	名																									
自 由 者	名																									
病 人	名																									
<h4>IV 問題点・教訓等</h4> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 外壁の防火戸に近接し、易燃性の合板による内装（外部からの目かくし用も兼ねていたものと考えられる）を施し、さらに易燃性合板により装飾され、これに接して可燃性の商品が多量に陳列してあったため、近接した建物外部よりの火災に対しては、輻射熱により延焼することは必然的であった。</li> <li>2. 2階の階段区画・防火シャッターは温度ヒューズが溶解しているにもかかわらず、自動降下しなかった。</li> <li>3. エスカレータ用防火シャッターが全く閉鎖されなかったため、上階延焼への最大の要因となった。シャッターポックスは當時施錠されていたうえ、点検も実施されておらず、錠も紛失しており、管理が悪く閉鎖できる状態でなかった。</li> <li>4. ダクトスペース及びパイプシャフトの床部分は、床を設げず吹き抜けとなっていた。また天井裏は全般にわたり、開放状態となっていた。</li> </ol>																										

配置図







4 階

火災発生・延焼状況

